

博物館・美術館等保存担当学芸員研修(ホ08)

- 1) 文化財の担当者研修、博物館・美術館等の保存担当学芸員研修を行う。
- 2) 研修の体系を完成させるとともに、研修受講生を対象としたアンケート及び派遣元自治体を対象とした研修成果の活用状況に関するアンケート調査を行い、その結果を踏まえ研修計画を策定する。

1. 第36回博物館・美術館等保存担当学芸員研修を、文化財活用センターと共催で実施した(7月8日～19日、受講者31名)。
2. 研修終了後にカリキュラム各項目の理解度や有用度、また今後の要望等に関するアンケート調査を行った。参加者から有益と評価された。
3. 令和元年度に実施した第35回博物館・美術館等保存担当学芸員研修受講者の所属長あてに、研修成果の活用実績やカリキュラム、応募手続き等に関する要望を問うアンケート調査を行った。



研修の様子

研究組織 ○佐野千絵、小安友利恵、小峰幸夫(以上、保存科学研究センター)、吉田直人、間渕創(保存科学研究センター併任、文化財活用センター)

文化財の収集・保管に関する指導助言(シ)

令和元年度は以下の組織等において指導助言を行った(24件)。

1. 豊川市桜ヶ丘ミュージアムの特別展「島田卓二、黒田清輝とその周辺」への協力・助言
2. 内子町教育委員会自治・学習課での黒田清輝「重岡薫五郎肖像画」調査への協力・助言
3. 国立アイヌ民族博物館の積層式書架に係る仕様策定に関する助言(仕様策定委員)
4. 国立新美術館のアートライブラリー委託業者選定に関する助言(外部審査員)
5. 八尾市史編纂のための文化財調査に関する協力・助言
6. 岡山県立美術館の文化財調査に関する協力・助言
7. 九州国立博物館の文化財調査に関する協力・助言
8. 中之島香雪美術館の文化財調査に関する協力・助言
- 9~24以下、所蔵作品調査に関する協力・助言

イギリス・イーストアングリア大学セインズベリー視覚芸術センター、ドイツ・ライプツィヒ民族学博物館、ドイツ・ハイデルベルク民族学博物館、ドイツ・ハンブルク美術工芸博物館、韓国国立中央博物館、ドイツ・ケルン東洋美術館、逸翁美術館、和歌山県立博物館、和歌山市立博物館、野崎家塩業歴史館、奈良国立博物館、サントリー美術館、甲賀市水口歴史民俗資料館、南蛮文化館、茨木市文化財資料館、大分県埋蔵文化財センター